

タブレット端末の使用方法について

1. タブレット端末でライブ画表示

タブレット端末でライブ画を表示する場合の手順を説明します。

1.1. 記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

【ボックス/ドーム】:WV-S1131、WV-S1112、WV-S1111、WV-S1111D、WV-S1130V(VRJ)、WV-S1110V(VRJ)、WV-S1510、WV-S1511LNJ(LNSJ)、WV-S1511LDN、WV-S1531LNJ、WV-S1531LNSJ、WV-S1531LTNJ、WV-S2110J、WV-S2110RJ、WV-S2130、WV-S2130RJ、WV-S2111L、WV-S2111LD、WV-S2131L、WV-S2511L、WV-S2511LN、WV-S2531LN、WV-S2531LTNで使用できる機能です。

【S113x】:WV-S1131、WV-S1130V、WV-S1130VRJで使用できる機能です。

【S111x】:WV-S1112、WV-S1111、WV-S1111D、WV-S1110V、WV-S1110VRJで使用できる機能です。

【コンパクトドーム】:WV-S3530J、WV-S3510J、WV-S3130J、WV-S3110Jで使用できる機能です。

【PTZ】:WV-S6530NJ(NS)、WV-S6130、WV-S6110、WV-X6531NJ(NS)、WV-X6511NJ、WV-S6131、WV-S6111で使用できる機能です。

【5M ボックス/ドーム】:WV-S1550LNJ、WV-S2550LNJ で使用できる機能です。

【5M 全方位】:WV-S4550L、WV-S4150 で使用できる機能です。

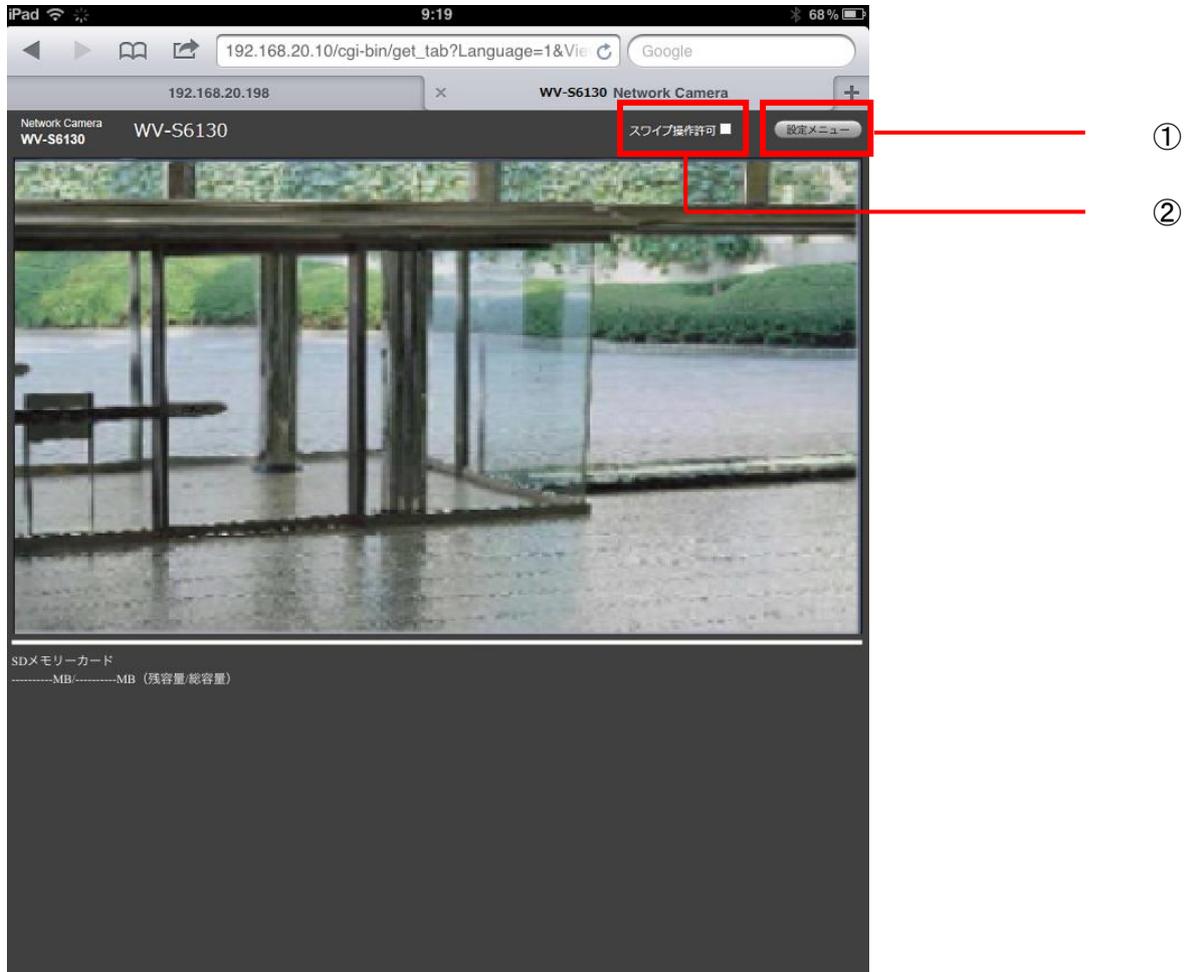
【9M 全方位】:WV-X4571L、WV-X4171 で使用できる機能です。

※マルチセンサーカメラ WV-X8570N / WV-S8530N は取扱説明書 操作・設定編を参照ください。

1.2. ライブ画面

タブレット端末で「http://IP アドレス/」または「http://DDNS サーバーに登録したホスト名/」を入力し、本機に接続します。

→ 本機の画像が表示されます。



お知らせ

- タブレット端末から本機の画像を見るには、あらかじめインターネットに接続するためのネットワーク設定が必要です。
 - 機種によっては、PCと同じ画面が表示される場合があります。その場合は、「http://IP アドレス/live/tab.html」または「http://DDNS サーバーに登録したホスト名/live/tab.html」を入力して接続してください。
- ① 設定メニュー
「設定メニュー」を押すと、設定画面が表示されます。
- ② スワイプ操作許可【PTZ】
「スワイプ操作許可」をチェックすると、スワイプによる拡大表示ができます。

1.3. 設定画面

1.3.1 【ボックス/ドーム】【5M ボックス/ドーム】



① スーパーダイナミック

スーパーダイナミック機能を働かせるかどうかを On/Off で設定します。

「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9](60fpsモード)」または「1.3メガピクセル[16:9](60fpsモード)」のときは設定できません。【ボックス/ドーム】

On: スーパーダイナミック機能を働かせます。

Off: スーパーダイナミック機能を停止します。

お知らせ

・ 40°C以上の環境で本機を使用する場合、スーパーダイナミック機能の効果が小さくなる場合があります

② 光量制御モード

光量制御を行うモードを以下から選択します。

屋外撮影: 明るさ(照度)によって、電子シャッターと自動絞りを併用して光量を制御します。屋外など明るい被写体を撮影する場合は、この設定にします。蛍光灯下などではフリッカー(ちらつき)が発生することがありますので、注意してください。

フリッカレス(50 Hz)／フリッカレス(60 Hz): 蛍光灯によるフリッカー(ちらつき)を自動補正します。地域によって 50 Hz／60 Hz を使い分けます。

ELC[S113x]【S111x】: 電子シャッターを使用して光量を制御します。

固定シャッター【ボックス/ドーム】:

－ 「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9](60fpsモード)」または「1.3メガピクセル[16:9](60fpsモード)」に設定されている場合:

1/60 固定／ 1/100 固定／ 1/120 固定／ 1/250 固定／ 1/500 固定／ 1/1000 固定／
1/2000 固定／ 1/4000 固定／ 1/10000 固定

- 「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9](30fpsモード)」または「1.3メガピクセル[16:9](30fpsモード)」、「3メガピクセル[4:3](30fpsモード)」、「1.3メガピクセル[4:3](30fpsモード)」に設定されている場合:
1/30 固定 / 3/120 固定 / 2/100 固定 / 2/120 固定 / 1/100 固定 / 1/120 固定 / 1/250 固定
/ 1/500 固定 / 1/1000 固定 / 1/2000 固定 / 1/4000 固定 / 1/10000 固定

固定シャッター【5M ボックス/ドーム】:

1/30 固定 / 3/120 固定 / 2/100 固定 / 2/120 固定 / 1/100 固定 / 1/120 固定 / 1/250 固定 /
1/500 固定 / 1/1000 固定 / 1/2000 固定 / 1/4000 固定 / 1/10000 固定

初期設定: 屋外撮影

お知らせ

- ・ シャッター速度を速くする(～1/10000)と、動きの速い被写体でもぶれにくくなります。
- ・ シャッター速度を速くすると、感度が落ちます。
- ・ 「スーパーダイナミック」を「On」に設定している場合、「ELC」、「固定シャッター」は設定できません。「ELC」、「固定シャッター」を設定する場合は、「スーパーダイナミック」を「Off」に設定してください。

③ 画像回転

画像を回転させるかどうかを設定します。

0° (Off): 画像を回転しません。

90° : 画像を 90 度回転します。

180° (上下反転): 画像を上下反転します。

270° : 画像を 270 度回転します。

初期設定: 0° (Off)

重要

- ・ 以下のエリア設定をした状態で画像回転の設定を変更すると位置がずれます。そのため、画像回転の設定をしたあとで、各エリアの設定をしてください。
 - マスクエリア
 - プライバシーゾーン
 - 動作検知エリア
 - VIQS エリア
- ・ 画像回転を[90°]または、[180°]に設定すると、[文字サイズ]の設定と文字数によっては、画面内文字が切れる場合があります。

【5M ボックス/ドーム】

- ・ 「画像回転」を「90° 」、「270° 」に設定すると、[日時画面内文字]-[表示位置]に設定できる位置は、「左上」、「左下」に制限されます。

お知らせ

- ・ 「撮像モード」が「4:3 モード」のときは、「90° 」、「270° 」は設定できません。
- ・ 画像回転の設定角度にしたがって MONITOR OUT 端子のアナログ出力も回転します。

④ マニュアルズーム調整

手動でズームを調整します。

- :ズーム(倍率)を1.0倍まで「広角」方向に調整します。

x1 :ズーム(倍率)を1.0倍にします。

+ :ズーム(倍率)を「望遠」方向に調整します。

お知らせ

【ボックス/ドーム】

- ・ズーム(倍率)によって、光学ズームとEX光学ズームが切り換わって動作します。
光学ズーム、EX光学ズームの対応倍率は、機種および設定している撮像モードによって異なります。
- ・各機種のズーム機能の詳細については、取扱説明書 操作・設定編を参照ください。

【5M ボックス/ドーム】

- ・ズーム(倍率)によって、光学ズームとEX光学ズームが切り換わって動作します。
 - 3.1倍まで:光学ズーム
 - 9.3倍まで:光学ズーム+EX光学ズーム
- ・ **-** **x1** **+** ボタンを操作した場合は、オートフォーカスを行いません。画角調整後、フォーカスを調節してください。

重要

- ・ マスクエリア、プライバシーゾーン、動作検知エリア、VIQS エリアの設定をした状態で、EX光学ズームの設定を行うと位置がずれます。そのため、EX光学ズームの設定をしたあとで、各エリアの設定をしてください。

⑤ マニュアルフォーカス調整

手動でフォーカスを調節します。

近 :フォーカス(焦点)を「近」方向に調節します。

リセット :フォーカス(焦点)を初期設定に戻します。

遠 :フォーカス(焦点)を「遠」方向に調節します。

お知らせ

- ・各機種のフォーカス機能の詳細については、取扱説明書 操作・設定編を参照ください。

⑥ オートフォーカス

実行 ボタンを押すと、オートフォーカス機能が働き、画面の中心領域の被写体に自動でフォーカスを調節します。

重要

- ・ 「最長露光時間」(→光量制御モード)を「最大 1/30s」より長い時間の値(最大 2/30s/最大 4/30s/最大 6/30s/最大 10/30s/最大 16/30s)に設定した状態で、夜間などスローシャッターが動作中にオートフォーカスを実行すると、オートフォーカスが完了するまで多くの時間を必要とする場合があります。
- ・ 以下のような場所あるいは被写体の場合は、自動でフォーカスを調整できない場合があります。その場合は、手動でフォーカスを調整してください。
 - 動きが大きい

- 照度変化が大きい
 - 低照度
 - 極端に明るかったり光の反射があったりする
 - 窓越し
 - ドームカバーが汚れやすい場所
 - 白壁など明暗が少ない
 - ちらつきが激しい
- ・ 近赤外光領域で画像がカラーから白黒に切り換わったとき、光学特性上ピントがずれる場合があります。そのときは、「カラー／白黒切換連動」を「オート」または「プリセット」に設定すると、自動的にピントを合わせることができるようになります(フォーカス動作完了後の照明変化には対応していません)。

⑦ 明るさ調整

0～255 で調節できます。 **暗(-)** ボタンを押すと画像が暗くなり、 **明(+)** ボタンを押すと画像が明るくなります。 **リセット** ボタンを押すと、初期設定に戻ります。

⑧ 閉じる

「閉じる」ボタンを押すと、設定画面が閉じます。

1.3.2 【コンパクトドーム】



① スーパーダイナミック

スーパーダイナミック機能を働かせるかどうかを On/Off で設定します。

「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9](60fpsモード)」または「1.3メガピクセル[16:9](60fpsモード)」のときは設定できません。

On: スーパーダイナミック機能を働かせます。

Off: スーパーダイナミック機能を停止します。

お知らせ

- ・ 照明の条件によって次のような現象が見られるときは、「スーパーダイナミック」を「Off」に設定して

ください。

- 画面のちらつきや色の変化が生じる場合
- 画面上の明るい部分にノイズが生じる場合
- ・ 40°C以上の環境で本機を使用する場合、スーパーダイナミック機能の効果が小さくなる場合があります。

② 光量制御モード

光量制御を行うモードを以下から選択します。

フリッカレス(50 Hz)／フリッカレス(60 Hz): 蛍光灯によるフリッカー(ちらつき)を自動補正します。地域によって 50 Hz／60 Hz を使い分けます。

ELC: 電子シャッターを使用して光量を制御します。

初期設定: ELC

③ 画像回転

画像を回転させるかどうかを設定します。

0° (Off): 画像を回転しません。

90°: 画像を 90 度回転します。

180° (上下反転): 画像を上下反転します。

270°: 画像を 270 度回転します。

初期設定: 0° (Off)

重要

- ・ 以下のエリア設定をした状態で画像回転の設定を変更すると位置がずれます。そのため、画像回転の設定をしたあとで、各エリアの設定をしてください。
 - マスクエリア
 - プライバシーゾーン
 - 動作検知エリア
 - VIQS エリア
- ・ 画像回転を[90°]または、[180°]に設定すると、[文字サイズ]の設定と文字数によっては、画面内文字が切れる場合があります。

お知らせ

- ・ 「撮像モード」が「4:3 モード」のときは、「90°」、「270°」は設定できません。

④ マニュアルズーム調整

手動で EX ズームを調整します。

-: ズーム(倍率)を 1.0 倍まで「広角」方向に調整します。

x1: ズーム(倍率)を 1.0 倍にします。

+: ズーム(倍率)を「望遠」方向に調整します。

お知らせ

- ・ EX ズームの最大倍率は、機種および設定している[撮像モード]によって異なります。
- ・ 最大倍率については取扱説明書 基本編を参照ください。

重要

- ・ マスクエリア、プライバシーゾーン、動作検知エリア、VIQS エリアの設定をした状態で、EX 光学ズームの設定を行うと位置がずれます。そのため、EX 光学ズームの設定をしたあとで、各エリアの設定をしてください。
- ・ マスクエリアは、ズーム(倍率)を 1.0 倍の状態を設定してください。EX ズームの設定後も、ズーム(倍率)が 1.0 倍時のマスク位置指定で動作します。

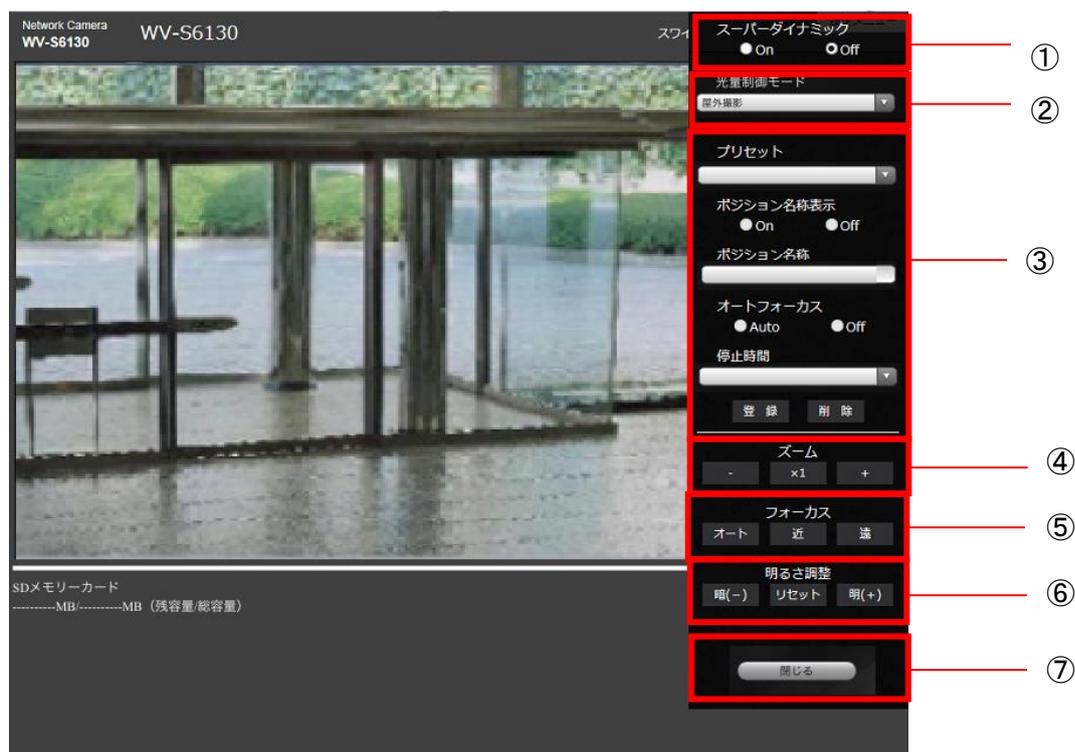
⑤ 明るさ調整

0～255 で調節できます。 **暗(-)** ボタンを押すと画像が暗くなり、 **明(+)** ボタンを押すと画像が明るくなります。 **リセット** ボタンを押すと、初期設定に戻ります。

⑥ 閉じる

「閉じる」ボタンを押すと、設定画面が閉じます。

1.3.3 【PTZ】



① スーパーダイナミック

スーパーダイナミック機能を働かせるかどうかを On/Off で設定します。

「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9](60fpsモード)」または「1.3メガピクセル[16:9](60fpsモード)」のときは設定できません。

On: スーパーダイナミック機能を働かせます。

Off: スーパーダイナミック機能を停止します。

初期設定: On

お知らせ

・40℃以上の環境で本機を使用する場合、スーパーダイナミック機能の効果が小さくなることがあります。

② 光量制御モード

光量制御を行うモードを以下から選択します。

屋外撮影: 明るさ(照度)によって、電子シャッターと自動絞りを併用して光量を制御します。屋外など明るい被写体を撮影する場合は、この設定にします。蛍光灯下などではフリッカー(ちらつき)が発生することがありますので、注意してください。

フリッカレス(50 Hz)／フリッカレス(60 Hz): 蛍光灯によるフリッカー(ちらつき)を自動補正します。地域によって 50 Hz／60 Hz を使い分けます。

固定シャッター:

－ 「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9](60fpsモード)」または「1.3メガピクセル[16:9](60fpsモード)」に設定されている場合:

1/60 固定／ 1/100 固定／ 1/120 固定／ 1/250 固定／ 1/500 固定／ 1/1000 固定／

1/2000 固定／ 1/4000 固定／ 1/10000 固定

- 「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9](30fpsモード)」または「1.3メガピクセル[16:9](30fpsモード)」、「3メガピクセル[4:3](30fpsモード)」、「1.3メガピクセル[4:3](30fpsモード)」に設定されている場合：
1/30 固定 / 3/120 固定 / 2/100 固定 / 2/120 固定 / 1/100 固定 / 1/120 固定 /
1/250 固定 / 1/500 固定 / 1/1000 固定 / 1/2000 固定 / 1/4000 固定 / 1/10000 固定

初期設定: 屋外撮影

お知らせ

- ・シャッター速度を速くする(～1/10000)と、動きの速い被写体でもぶれにくくなります。
- ・シャッター速度を速くすると、感度が落ちます。
- ・「スーパーダイナミック」を「On」に設定している場合、「固定シャッター」は設定できません。
「固定シャッター」を設定する場合は、「スーパーダイナミック」を「Off」に設定してください。

③ プリセットポジション設定

プリセットポジションを設定します。

プリセット登録前に、カメラの向きを登録したい方向へ移動させます。

カメラの向きを変える場合、「スワイプ操作許可」を有効にした上で、画角の中心としたい画像位置をクリックしてください。

クリックした位置を中心とする位置にカメラの向きが移動します。

ズームインする場合、「スワイプ操作許可」を有効にした上で、画像中の拡大表示したい範囲を囲むように選択操作してください。

(ご注意) タブレットを使ったプリセットポジション登録は、以下をご注意ください。

- ・タブレット上の画像更新が遅い場合、確認用モニターの画像を見ながらプリセット登録設定することをおすすめいたします。
- ・タブレット操作で、画面リサイズをすると、画面による向きを変える操作、ズームイン操作ができない場合があります。
- ・タブレット操作で、カメラの向きを調整できない場合、取扱説明書「1.2.2 携帯端末(スマートフォンを含む)から画像を見る」に記載された方法で、カメラの向きを登録したい方向へ移動させてください。

プリセット: 登録するポジション番号を設定します。

ポジション名称表示: ポジション名称を表示するかどうかを On / Off で設定します。プリセットポジションごとに設定できます。

On: ポジション名称を表示します。

Off: ポジション名称を表示しません。

初期設定: Off

ポジション名称: 画像上に表示する名称を入力します。プリセットポジションごとに設定できます。

入力可能文字数: 0～20文字

入力可能文字: 0～9(半角)、A～Z(半角、大文字、小文字)、全角、半角記号「!」「”」「#」「\$」「%」「&」「'」
「(「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「=」「?」

初期設定: 空欄

オートフォーカス:プリセット移動後にオートフォーカスを行うかどうかを Auto / Off で設定します。プリセットポジションごとに設定できます。

Auto: プリセット移動後にオートフォーカスを行います。

Off:プリセット移動後にオートフォーカスを行いません。

初期設定: Off

停止時間:プリセットシーケンス動作時に、各プリセットポジションの画像を映し出す時間(カメラの回転が停止している時間)を以下から選択します。

Off / 5s / 10s / 15s / 20s / 25s / 30s

初期設定: 10s

登録:プリセットポジションを登録します。

削除:ポジション番号で選択したプリセットポジションを削除します。

④ ズーム

手動でズームを調整します。

- :ズーム(倍率)を 1.0 倍まで「広角」方向に調整します。

x1 :ズーム(倍率)を 1.0 倍にします。

+ :ズーム(倍率)を「望遠」方向に調整します。

⑤ フォーカス

オート :自動的にフォーカス(焦点)を調節します。

近 :フォーカス(焦点)を「近」方向に調節します。

遠 :フォーカス(焦点)を「遠」方向に調節します。

お知らせ

・ 以下のような被写体は、オートフォーカスでピントを合わせることができません。手動操作でピントを合わせてください。

- 輝いたり、強い光が反射する被写体
- 水滴や汚れのついたガラス越しにある被写体
- 遠くの被写体と近くの被写体が混在する場合
- 明暗差のない被写体(白い壁など)
- ブラインドなど、横じまの被写体
- 斜めの被写体
- 暗い被写体

⑥ 明るさ調整

0~255 で調節できます。 **暗(-)** ボタンを押すと画像が暗くなり、 **明(+)** ボタンを押すと画像が明るくなります。 **リセット** ボタンを押すと、初期設定に戻ります。

⑦ 閉じる

「閉じる」ボタンを押すと、設定画面が閉じます。

1.3.4 【5M 全方位】【9M 全方位】

【9M 全方位】

Network Camera
WV-X4571L

ダイナミックレンジ制御
On(ワイドダイナミックレンジ)

光量制御モード
ELC

上下反転
● On ● Off

マニュアルフォーカス調整
近 リセット 遠

オートフォーカス
実行

明るさ調整
暗(-) リセット 明(+)

閉じる

SDメモリーカード
-----MB/-----MB (残容量/総容量)

【5M 全方位】

Network Camera
WV-S4150

スーパーダイナミック
● On ● Off

光量制御モード
ELC

上下反転
● On ● Off

明るさ調整
暗(-) リセット 明(+)

閉じる

SDメモリーカード
-----MB/-----MB (残容量/総容量)

① ダイナミックレンジ制御【9M 全方位】

ワイドダイナミックレンジ機能、スーパーダイナミック機能を働かせるかどうかを「On(ワイドダイナミックレンジ)」/「On(スーパーダイナミック)」/「Off」で設定します。

On(ワイドダイナミックレンジ):ワイドダイナミックレンジ機能を働かせます。

ワイドダイナミックレンジ機能は、明暗差がある被写体でも明るさを補正し、自然な画像で確認できます。

On(スーパーダイナミック):スーパーダイナミック機能を働かせます。

明暗差がある被写体の場合に、「On(ワイドダイナミックレンジ)」設定時より被写体を忠実に再現することができます。

スーパーダイナミック機能について詳しくはスーパーダイナミックとはをお読みください。

Off:スーパーダイナミック機能およびワイドダイナミックレンジ機能を停止します。

初期設定: Off

お知らせ

- ・ 「ダイナミックレンジ制御」を「On(スーパーダイナミック)」に設定した場合、フレームレートは最大 15fps に制限されます。
- ・ 「ダイナミックレンジ制御」を「On(スーパーダイナミック)」にした場合、以下の現象が発生する場合があります。ご使用環境に応じて「ダイナミックレンジ制御」を「On(ワイドダイナミックレンジ)」または「Off」に設定してください。
 - 周囲の明るさの条件によっては逆光での視認性が悪くなる場合があります。
 - 画像に残像が出る場合があります。
- ・ 「ダイナミックレンジ制御」を「On(スーパーダイナミック)」または「On(ワイドダイナミックレンジ)」に設定したとき、照明の条件によって以下の現象が発生する場合があります。ご使用環境に応じて「ダイナミックレンジ制御」を「Off」に設定してください。
 - 画面のちらつきや色の変化が生じる場合
 - 画面上の明るい部分や暗い部分にノイズが生じる場合

② スーパーダイナミック【5M 全方位】

スーパーダイナミック機能を働かせるかどうかを On/Off で設定します。

On:スーパーダイナミック機能を働かせます。

Off:スーパーダイナミック機能を停止します。

初期設定: Off

お知らせ

- ・ 照明の条件によって次のような現象が見られるときは、「スーパーダイナミック」を「Off」に設定してください。
 - 画面のちらつきや色の変化が生じる場合
 - 画面上の明るい部分にノイズが生じる場合

③ 光量制御モード

光量制御を行うモードを以下から選択します。

フリッカレス(50 Hz)／フリッカレス(60 Hz):蛍光灯によるフリッカー(ちらつき)を自動補正します。地域によって 50 Hz/60 Hz を使い分けます。

ELC:電子シャッターを使用して光量を制御します。

初期設定: ELC

④ 上下反転

画像を上下反転させるかどうかを On/Off で設定します。

初期設定: Off

重要

- ・ 以下のエリア設定をした状態で「上下反転」を変更した場合、エリアの再設定が必要です。
 - プライバシーゾーン(→プライバシーゾーンを設定する(プライバシーゾーン設定画面))
 - 動作検知エリア(→動作検知の設定を行う[動作検知エリア])
 - VIQS エリア(→ VIQS を設定する)
 - マスクエリア(→ マスクエリアを設定する)
- ・ プリセットポジションを設定した状態で、「上下反転」を変更した場合、プリセットポジションの再設定が必要です。(→ プリセットポジションを設定する(プリセットポジション設定画面))

お知らせ

- ・ 上下反転機能は、<天井>の「撮像モード」のときに設定できます。(→ 撮像モードを設定する[映像])
- ・ 画像の種類が魚眼の場合は、上下反転しません。

⑤ マニュアルフォーカス調整

手動でフォーカスを調節します。

近 :フォーカス(焦点)を「近」方向に調節します。

リセット :フォーカス(焦点)を初期設定に戻します。カラー画像、白黒画像のどちらも初期設定に戻ります。

遠 :フォーカス(焦点)を「遠」方向に調節します。

⑥ オートフォーカス

実行 ボタンを押すと、オートバックフォーカス機能が働き、画面の中心領域の被写体に自動でフォーカスを調節します。

重要

- ・ 「最長露光時間」を「最大 1/30s」より長い時間の値(最大 2/30s/最大 4/30s/最大 6/30s/最大 10/30s/最大 16/30s)に設定した状態で、夜間などスローシャッターが動作中にオートバックフォーカスを実行すると、オートバックフォーカスが完了するまで多くの時間を必要とする場合があります。
- ・ 以下のような場所あるいは被写体の場合は、自動でオートバックフォーカスを調整できない場合があります。その場合は、手動でフォーカスを調整してください。
 - 動きが大きい
 - 照度変化が大きい
 - 低照度
 - 極端に明るかったり光の反射があったりする
 - 窓越し
 - レンズが汚れやすい場所
 - 白壁など明暗が少ない
 - ちらつきが激しい

・近赤外光領域で画像がカラーから白黒に切り換わったとき、光学特性上ピントがずれる場合があります。そのときは、「カラー／白黒切替連動」を「オート」または「プリセット」に設定すると、自動的にピントを合わせることができるようになります(フォーカス動作完了後の照明変化には対応していません)。

⑦ 明るさ調整

0～255 で調節できます。 **暗(-)** ボタンを押すと画像が暗くなり、 **明(+)** ボタンを押すと画像が明るくなります。 **リセット** ボタンを押すと、初期設定に戻ります。

⑧ 閉じる

「閉じる」ボタンを押すと、設定画面が閉じます。

改訂履歴

年月	改訂内容	備考
2017年3月	初版	
2017年4月	WV-S1130V、WV-S1130VRJ WV-S1110V、WV-S1110VRJ 追加	
2018年12月	EXTREME シリーズ PTZ カメラ、5M ボックス/ドームカメラ、5M/9M 全方位カメラ、コンパクトドームカメラ追加	